

株式会社レイホー製作所

カーボングラファイト（黒鉛）製品を高精度で加工

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



AIカメラを導入した生産ライン

主な事業内容

カーボングラファイト（黒鉛）製品の加工・表面改質処理など

主な取引先（納入先）

ディスコ、ノリタケカンパニーリミテド、住友電気工業など

主な製品

半導体・電子部品製造用治具や自動車部品、工業炉部品など

業務内容

優れた特性を数多く持つカーボンを加工

高い耐熱性・導電性・薬品耐性などの特性を持つカーボン。レイホー製作所は、その素材への高精度加工および機能特性を付加したカーボングラファイト（黒鉛）製品の設計加工会社である。優れた特性を数多く有するため、その用途は広く、同社は半導体製造プロセスならびに電子部品製造装置や自動車部品、工業炉など幅広い分野の治具や部品の加工を請け負っている。

創業は戦前の昭和15年。現社長・田中喜佐夫氏の祖父である田中改介氏が、モーター用カーボンブラシの加工会社・東邦カーボン製造所を創設して事業を開始。戦後は日立製作所の専門加工工場に指定された。昭和53年には、特殊炭素事業の会社として別に設立していた麗水製作所と合併。以降、カーボングラファイトを中心に事業領域を広げている。

強み 生産現場に直接出向く直販体制が強み

同社の最大の強みは、創業以来、長年培ってきた技術力である。精密加工技術、特に異なった形状の部品同士を

隙間なく組み合わせる嵌合技術の精度の高さでは定評がある。カーボンを加工する特殊刃物を内製化し、高品質・低コスト化を実現していることも強みだ。また、顧客と直接取引をする直販体制を敷いており、顧客の生産現場に出向いて、困りごとを聞き、VA/VEにもとづく提案ができる。これらの強みを背景に、ダイヤモンド工具関連の焼結型製造で100%近いシェアを持つほか、様々な分野で高いシェアを誇る。

生産管理 AIカメラ導入で工場稼働を「見える化」

AIカメラの導入で工場稼働を「見える化」するなど、QCDの改善による生産管理強化にも取り組み中だ。「こうした努力で、生産性が急上昇している」と、田中社長は胸を張る。

カーボンは消耗品だが、加工廃材とともに使用済みの製品を引き取って粉砕し、加炭材として再利用するなど環境配慮も忘れない。今後はライフサイクルを延ばす工夫とともに、省エネルギー化の提案や、カーボン以外の素材を組み合わせた新しい材料の独自開発にも注力。カーボン製品の開発メーカーへの発展を視野に入れる。

社長あいさつ



代表取締役社長 田中 喜佐夫さん

当社は昭和15年の創業以来、カーボン素材を起点に、各種産業分野におけるイノベーションに対し、精密加工と用途開発で貢献してきました。今後も各種企業の研究機関や大学との共同研究のもと、新たな機能製品の共同開発に挑戦し、より優れた炭素製品へ技術を磨いてまいります。

主な保有設備

- マシニングセンタ V56iほか 牧野フライス製作所製ほか 10台
- NCフライス BXR310ほか 武田機械製ほか 6台
- CNC複合旋盤 NLX3000ほか DMG森精機製ほか 7台
- ワイヤカット α0iB ファナック製 1台
- 三次元測定機 XM-T1200 キーエンス製 1台

大阪 04

住 所／〒566-0064
摂津市
鳥飼中3-9-29
T E L／072-654-5562
F A X／072-654-8785
創 業／昭和15年3月
設 立／昭和37年10月
資本金／1,500万円
従業員／47名



フィルター、焼結型、電子治具



ヒーター、鑄造治具



<https://www.0ho.co.jp/>